

地球観測に関する政府間会合（GEO） 閣僚級会合等の開催結果について

令和6年1月12日
地球観測推進部会



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

GEO閣僚級会合等（GEO WEEK 2023）の概要

GEO WEEK 2023 開催概要

日程：11月6日（月）～10日（金）

場所：南アフリカ、ケープタウン テーマ：地球対話「#TheEarthTalks」



主な会合等：GEO閣僚級会合、第19回GEO本会合、第62回GEO執行委員会

第19回GEO本会合においてGEO次期戦略（2026年～）が採択され、GEO閣僚級会合においてこれを支持する「ケープタウン宣言」（GEO閣僚級宣言）が採択された。

GEO WEEK 2023 全体スケジュール

11月6日（月）	11月7日（火）	11月8日（水）	11月9日（木）	11月10日（金）
サイドイベント	第62回執行委員会 サイドイベント	第19回本会合 （1日目）	第19回本会合 （2日目）	閣僚級会合
エキシビジョン				

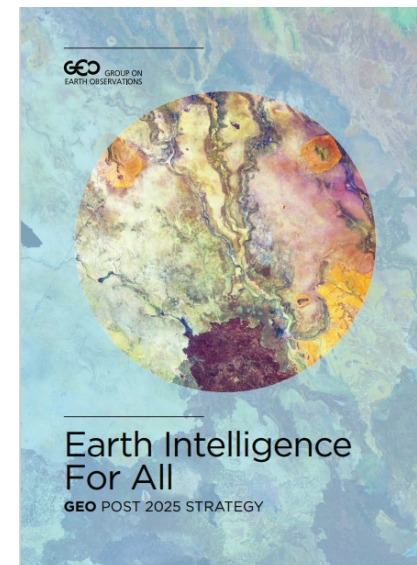
第19回GEO本会合1日目（11月8日） 結果概要

新規参加国、機関及びアソシエイトの紹介

- 2023年よりGEOに新規加盟したトリニダード・トバゴと8つの機関が紹介された。
※GEOの参加国は計115か国（EC含む）、参加機関は計153機関

GEO次期戦略案の採択

- 「地球インテリジェンス」をテーマとした「GEO次期戦略」が採択された。
- 我が国からは、国内では「地球インテリジェンス」の創出に向け、データバリューチェーンの実現に向けた議論を進めており、「地球インテリジェンス」は日本からGEOに提唱した概念であることから、GEO次期戦略が採択されることを歓迎すると述べた。



閣僚級宣言案の紹介

- GEO次期戦略を支持する内容の閣僚級宣言（ケープタウン宣言）の最終案とその概要が発表された。

Global Ecosystem Atlas

- GEO事務局が主導する「Global Ecosystem Atlas」の取組について、各国から期待が表明された。
- 英国はGlobal Ecosystem Atlasの実現に向け、180,000 米ドルを拠出することを表明した。また、ECは Horizon 2020等の既存の取組と連携することにより貢献したいと表明した。

第19回GEO本会合2日目（11月9日） 結果概要

GEOを通じた取組

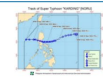
- 2023年のGEOアワードを受賞した3つの取組及び、2023年ハイライトレポートの中から3つの実例の紹介とパネルトークが実施され、そこから得られた経験や教訓、ユーザからの声について発表された。
- 我が国からは、データ統合・解析システム（DIAS）を活用した「知の統合オンラインシステム」（OSS-SR）によるフィリピンでの人材育成プロジェクトについて発表した。



Impact

OSS-SR successfully monitored the inundation of Typhoon Noru (known locally as Typhoon Karding) that hit Luzon Island in the Philippines on 26 September 2022.

Peak inundation from the OSS-SR



Photos

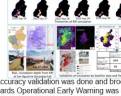


#TheEarthTalks GEO WEEK & Ministerial Summit 2023

During the Typhoon



After the Typhoon



地球観測に関する国内調整メカニズムについて

- 事務局から、国内調整メカニズムの意義に関するプレゼンテーション及び、パネルディスカッションが実施された。
- 我が国からは、GEOが設立された当初から、日本では国内戦略の策定と地球観測推進部会の設立を通じて国内調整メカニズムを確立しており、GEOのコミュニティに対して我が国の経験と知見を提供したいと述べた。

次の会合について

- 事務局長より、2025年からGEO WEEKは4月に期間を移行するとともに、名称を改めるとの発表があった。

GEO閣僚級会合（11月10日） 結果概要①

GEO次期戦略に関する議論

- 「地球インテリジェンス」をテーマとするGEO次期戦略について、事務局より概要が紹介された。
- 続いて、我が国に加え、フランスとカナダより地球インテリジェンスの必要性について表明された。
- 我が国からは、我が国の地球インテリジェンスに対する取組としてDIASのリアルタイム観測データを活用した浸水予測システム等を紹介し、国際的なデータバリューチェーンの実現と地球インテリジェンスの持続的な創出の必要性を提唱した。



地球観測における公平性と包摂性の向上

- 地球観測における公平性と包摂性について、中国、豪州、南ア、セネガルより発言があり、情報格差解消の必要性と各国の取組について表明された。

若者によるパネルディスカッション

- 南アフリカ等からの若手代表12名により、GEOへの提案とパネルディスカッションが実施され、GEOに対して若手の議席確保及び能力開発支援等の必要性について発言があった。

GEO閣僚級会合（11月10日） 結果概要②

閣僚級宣言（ケープタウン宣言）の採択

- ケープタウン宣言案が紹介され、ドイツ、豪州、ベルギーよりケープタウン宣言への支持が表明された。
- 全会一致で「ケープタウン宣言」が採択された。



閣僚級宣言とGEO次期戦略の実施

- 我が国に加え、英国、フィンランド、ウガンダ、ナイジェリア、WMO、南アフリカ国立生物多様性研究所より、ケープタウン宣言及びGEO次期戦略に対する貢献について発言がなされた。
- 我が国からは、GEOへの貢献として、課題解決に貢献しうる地球観測データの継続的な取得及び世界各国との共有、地球規模課題の解決に向けた地球観測データの利活用の一層の推進、並びにGEOの活動の普及と推進への貢献の3項目に関する取組について発言し、GEOを通じて人類にとって持続可能な社会を築くために手を携えて共に進むことを提唱した。

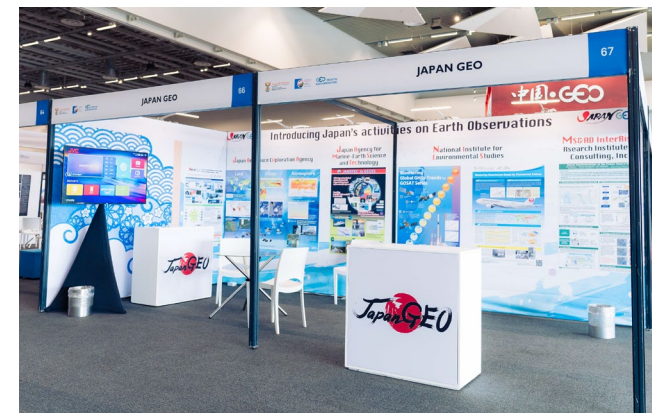


JAPAN GEO 展示概要（11月6日～10日）

- GEO WEEKにおいて、米国や中国、EC等のGEO参加国等のブースが設けられ、我が国も、JAPAN GEOブースを設置した。
- JAPAN GEOのブースには、以下の5 機関が出展した。また、「DIASを活用したOSS-SRの取組」及び「温室効果ガス観測技術衛星（GOSATシリーズ）による温室効果ガスの長期観測」について担当者よりショートレクチャーを実施した。

ポスター出展機関と各内容（計6枚）

- **JAPAN GEO**：GEOSSへの連携、DIASの取組、AOGEOへの貢献について
- **宇宙航空研究開発機構（JAXA）**：地上・海洋・大気観測の取組について
- **海洋研究開発機構（JAMSTEC）**：GEOSSに対するJAMSTECの貢献について
- **国立環境研究所（NIES）**：
 - (1) GOSATシリーズによる温室効果ガス観測の取組について
 - (2) 商用旅客機による温室効果ガス観測の取組について
- **MS&ADインターリスク総研（株）**：
LaRC-Flood洪水リスクデータベースの共同研究成果について



今後に向けた動き（～2025年）

- **2025年以降のGEO WEEK（仮称）は、「地球の日」（毎年4月22日）に合わせ、4月の開催となる。**このため、**次回のGEO WEEK及び第20回GEO本会合は、2025年4月に開催される予定である。**
 - ※ 2024年には、GEO WEEK及びGEO本会合は開催されない予定である
- 2025年4月の第20回GEO本会合に向け、**GEO次期戦略を実現するための実施計画の検討**が行われる。

